

後援会だより

東北工業大学

2019年4月22日(月)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 電話(022)305-3155

第34号

東北工業大学後援会



ごあいさつ



後援会会長
小鹿 信弘

ご父母の皆様、日頃から後援会の活動にご支援ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

後援会の目的は、大学の興隆発展に寄与し、会員相互の連携を図ることであり、その目的達成のため、本会では様々な事業を計画しております。新年度に際しまして、入学式後に後援会総会を行い、平成30年度の事業と会計報告、2019年度事業計画並びに予算(案)をご承認頂きました。

では、後援会の事業をいくつかご紹介させていただきます。

1. ご父母対象事業

<父母懇談会>

大学と家庭との連絡活動として、仙台会場2ヵ所（八木山キャンパス・長町キャンパス）、東北5県と新潟県の計8会場で父母懇談会を実施しております。父母懇談会では、ご子女の所属学科教員との個人面談を行っています。学業のことは勿論、授業への出席状況、就職対策、課外活動等について、直接教員からアドバイスを聞くチャンスであり、参加したご父母からは大変好評をいたいただいております。その他、各会場では、就職関連、今どきの学生の現状と課題など、専門の講師による講演会も実施します。

<大学見学会>

10月の大学祭時に、ご父母対象の大学見学会を実施しております。日頃の学生の活動の様子や成果を見ることができ、県外からも多くのご父母にご来場いただいております。

2. 学生対象事業

<貸与奨学金>

歴代のご父母から委託してきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、4年次に在籍し、経済的事由により就学が困難な学生に対して後援会が銀行と提携して奨学金を貸与しております。

<100円朝食キャンペーン>

平成29年度後期より大学が実施している100円朝食キャンペーンの経費を援助しております。朝食を摂らないことで生活リズムが乱れ、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や、生活習慣を改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として実施しております。

<就職支援>

就職活動時に活用する就職の手引の作成や支援講座・模擬テスト等の経費の一部援助を行っております。

<課外活動支援>

クラブ活動の用具類等の援助を行っております。また、昨年度は、課外活動優秀者として、6団体、30名の個人が学長から表彰されましたが、後援会では、その6団体と30名の個人に対し副賞を贈呈いたしました。

以上のような事業以外にもご父母、学生、大学のために多くの施策を実施し、満足度の高いサービスの提供を心掛けておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2019年度 東北工業大学後援会総会

日 時 平成31年4月3日(水)午前11時20分(入学式終了後)
場 所 東北工業大学八木山キャンパス講堂(体育館)
出席者 新入生ならびに在学生の父母約800名

総会は、小鹿副会長の開会の言葉で始まり、小泉会長の挨拶に引き続き、議長に小泉会長が選出され、議事に入りました。

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について
小鹿副会長より、後援会の主要事業である父母懇談会を含む平成30年度の事業報告が行われた。その後、丹野会計担当理事より決算報告。伊藤監事より、監査報告が行われ、原案どおり承認されました。

第2号議案 2019年度事業計画並びに予算(案)について
高橋副会長より事業計画(案)、丹野会計担当理事より予算(案)が提案され、原案どおり承認されました。

第3号議案 2019年度役員改選(案)について
事務局より、新年度役員の提案があり、承認されました。

議長解任後、2019年度新役員の紹介が行われ、小鹿新会長が挨拶しました。

高橋副会長より閉会の言葉があり、12時ごろ閉会しました。

※平成30年度をもって小泉会長、大宮理事、川崎山形県支部長が退任されました。ご尽力に厚くお礼申し上げます。

2019年度 後援会役員

役職名	氏名	役職名	氏名
会 長	小鹿 信弘	理 事 ○ 堀 豊	
副 会 長	佐藤 育朗	青森県支部長	八戸 認
副 会 長	高橋 健一	秋田県支部長	佐々木雅章
副 会 長 ○	伊藤 克利	岩手県支部長	福士 光則
会計担当理事	丹野 喜昭	山形県支部長 ○	三澤 桂一
理 事	嶺岸 裕	福島県支部長	壁谷 茂
理 事	間枝 清人	新潟県支部長	伊藤 広義
理 事	小野寺 正美	監 事	貞島 純
理 事	齋藤 麻希	監 事 ◇	安倍 恵子
理 事 ○	朽木 康裕	○印は新任	○印は監事から副会長
		◇印は理事から監事	

平成30年度 後援会事業報告

東北工業大学後援会は、昭和60年4月に発足してから今年度34年目を迎えることができました。

本会は、規約にもありますように、その目的を実現するために、下記のとおり種々の事業を継続的に行っておりますが、ここに平成30年度の活動を報告いたします。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

後援会の主要行事の一つである父母懇談会は、東北から新潟までの8会場で開催され、568名（両親出席も1名として集計）のご父母が参加されました。

大学側の近況報告、講演会の後、学科ごとに教員との個人面談が行われました。ご父母からは、学業成績をはじめ就職問題に至るまで活発な質問やご意見が寄せられ、応対する先生方と和やかな中にも熱心な話し合いがもたらし、好評のうちに終了しました。

毎年、参加者総数は増加傾向にありましたが、平成23年3月の震災の影響により一時的に減少したもの、その後参加者総数は年々増加しております。

*ご両親出席も1名として集計

開 催 地	青	青	盛	岩	キ	八	宮	キ	長	官	秋	山	山	福	福	新	新	合 計
	森	森	岡	手	木	木	城	城	長	城	田	形	形	島	島	潟	潟	
	市	県	市	県	ス	山	県	ス	町	市	県	市	県	市	県	市	県	
実 施 日	6/3	6/17	6/9	6/9	6/2	6/2	6/2	6/16	6/3									
参 加 者	38	65	247	85	53	57	16	7	104									568
電気電子工学科	3	13	64	0	12	9	2	1	104									
情報通信工学科	6	11	67	0	11	18	5	0	118									
建 筑 学 科	10	12	61	0	10	9	4	1	107									
都市マネジメント学科	4	13	33	0	8	7	2	5	72									
環境エネルギー学科	3	5	22	0	2	5	3	0	40									
L D 学 部	クリエイティブデザイン学科	5	5	0	24	5	1	0	0	40								
	安全安心生活デザイン学科	3	4	0	24	2	4	0	0	37								
	経営コミュニケーション学科	4	2	0	37	3	4	0	0	50								

※ L D 学部はライフケインズデザイン学部の略称です。

(2) 講演会の開催

父母懇談会の開催にあわせ、青森・盛岡・秋田・山形・福島・八木山キャンパス・長町キャンパスの7会場で講演会を実施いたしました。各会場の講演内容は次のとおりです。

山形会場・本学八木山キャンパス

講師：阿部 俊三（学校法人 東北工業大学 参与）
演題：「企業が求める人財と本学の就職状況」
-学生・家庭・大学による三位一体の就職活動-

秋田会場・福島会場

講師：就職委員長 千葉 則行（都市マネジメント学科 教授）
演題：「本学の就職状況と保護者の立場からの就職活動支援」

青森会場・岩手会場

講師：猿渡英代子（ウェルネスセンター カウンセラー）
演題：「悩みながら成長する」
-大学生の現状と課題-

本学長町キャンパス

講師：袋地 知恵（ウェルネスセンター カウンセラー）
演題：「学生生活とブラックバイト」

参加者からのアンケートでは、

- ・企業ではどんな人材が求められているのか、親のかかわり方が勉強になりました。
 - ・就職活動にあたって親としての留意する点、構え等、とても参考になりました。
 - ・カウンセラーの先生による子どもとの対話の方について大変参考になった。
- などの感想が寄せられました。

このように、皆様に共通した关心の深いテーマをご提案いただき、今後も継続してより充実した講演会にしていきたいと考えております。

(3) 「後援会だより」並びに「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会の活動状況を会員にお伝えするため、「後援会だより」（第33号）を4月に発行しました。

あわせて父母懇談会の意義や講師の紹介などを掲載した父母懇談会のご案内と「キャンパスガイド家庭版」を作成し、送付しました。

(4) 本年度も大学の協力を得て、「成績通知書」を2回送付しました。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円朝食キャンペーンへの補助

朝食を摂らないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や生活習慣を、朝食を摂ることを通じて改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として、大学が実施した100円朝食キャンペーンの経費を援助しました。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（水、食料）購入に係る経費の一部を援助しました。

3. 就職支援の援助

(1) 「就職の手引き」の作成

学生の就職活動に役立てもらうため、就職活動の進め方や履歴書の書き方などを記載した「就職ガイドブック」を作成し、平成30年度3年次生の就職ガイダンスにおいて学生に配布しました。

(2) 就職支援講座・模擬テスト等の充実

3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対してSPI（Synthetic Personality Inventory）とは、総合適性検査と称し多くの企業の入社試験で利用されている。検査は「能力適性検査」（言語的能力（国語）、非言語能力（数学））と「性格適性検査」（行動的側面、意欲的側面、情緒的側面、性格的類型）の2つに分かれている。特に、能力適性検査については、試験形式に特徴があるので問題慣れする必要がある。特別講座、自己分析講習会、就職模擬テスト（一般常識テスト、就職適性検査および自己PR等の記入指導）などを実施しましたが、その経費の一部を援助しました。

(3) 合宿形式の就職対策研修会にその経費の一部を援助しました。

(4) 進路支援活動への支援

各学科で実施する進路支援活動に対し、学生数×1,000円を上限に援助しました。

4. 課外活動の援助

学生会・課外活動連合委員会を中心とする学生の自主活動には、体育会系・文化会系クラブの約50団体と、学生部会・大学祭実行委員会・報道部会・応援団・その他任意団体がありますが、その活動を後援する目的で下記のとおり援助を行いました。

(1) クラブ活動用具類等の援助

課外活動連合委員会からの要請を受けて、各クラブの活動状況を評価して、必要な物品を援助しました。また、各クラブが加入するスポーツ保険加入料の経費の一部を援助しました。

(2) 北海道科学大学との総合定期戦における諸経費の一部援助

第33回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦は、8月29日、北海道科学大学を会場に開催されました。それにかかる経費の一部を援助しました。

戦績は、本学の3勝9敗で北海道科学大学の総合優勝となりました。

大会にはサッカーチーム・ソフトテニス部・硬式テニス部・弓道部・バスケットボール部・剣道部・柔道部・バレー部・ハンドボール部・バドミントン部・卓球部・アメリカンフットボール部の12クラブが参加しました。

(3) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦

千葉工業大学との第44回硬式野球部定期戦は8月15日に千葉工業大学野球場で開催され、9対4で勝利しました。

この定期戦に伴う費用の一部を援助しました。

(4) 学内・学外指導者への援助

学生のクラブ活動をご指導いただいている学内外の指導者に対して、各大会等へ引率旅費等を援助しました。

(5) 課外活動クラブが遠征等に八木山シャトルを利用した際の借用経費等の一部を補助しました。

(6) 課外活動優秀者学長表彰において、団体表彰（6団体）及び個人受賞者（30名）へ副賞を贈呈しました。

5. 教育に必要と認められる援助

(1) 図書館への援助

書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈しました。

(2) 卒業生および新入生への援助

卒業生に対する記念品として印鑑、新入生に対する記念品としてキャンパスカレンダー、およびクリエイティブデザイン学科学生のデザインによるペーパーバッグ（手提げ袋）を贈呈しました。

(3) 二輪車運転実技講習会経費の一部援助

大学では、安全運転の徹底をはかるため二輪車で通学する学生に対して、登録制度を採用しており、大学が指定する実技講習会の受講を義務付けています。本年度は、4月から10月までに4回実施しており、全体で79名が宮交自動車学校の指導員より指導を受けましたが、その際の参加賞品の一部を援助しました。

(4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助しました。

(5) 10月13日・14日八木山キャンパスで開催された大学祭時に学生の活動や学内の様子を見学するための「大学見学会」を実施し、それら経費の一部を援助しました。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

(1) 特別積立金

平成30年度は積立を行わずに、八木山キャンパス体育館に移動式バスケットゴールを寄贈しました。また、LD学部10周年記念事業として長町キャンパス4号館正面入り口前にシンボル時計を寄贈しました。

(2) 貸与奨学金制度

大学から推薦された2名の学生に後援会貸与奨学生として総額935,000円を貸与いたしました。

昨年度までに採用された54名の卒業生からは順調に返還が行われております。卒業された奨学生の方々の社会でのご活躍を祈念いたします。

(3) 一番町ロビーへの援助

東北工業大学一番町ロビーの広報活動の一助として、「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助しました。

7. 後援会支部組織の強化支援

後援会の充実と組織の強化を図るために、東北5県（宮城県除く）および新潟県に支部を結成しており、地元での活動を行っています。

大学と各支部との情報交換および活動支援のため、後援会本部役員等が各支部の総会のほか幹事会にも参加し意見交換を行いました。

本年度も、各支部が独自に大学見学会を企画し、10月13日の大学祭開催日に八木山キャンパスを見学しました。また、各支部では、支部会報を発行する等活動的な活動が行われております。

平成30年度 各県支部総会開催日および支部役員

開催県	青森県 第23回支部総会	岩手県 第24回支部総会	秋田県 第22回支部総会	山形県 第26回支部総会	福島県 第23回支部総会	新潟県 第19回支部総会
開催日	6月3日(日)	6月17日(日)	6月2日(土)	6月2日(土)	6月16日(土)	6月3日(日)
支 部 長	八戸 認 (青森市)	福士 光則 (滝沢市)	佐々木雅章 (秋田市)	川崎 修 (東置賜郡)	壁谷 茂 (田村市)	伊藤 広義 (阿賀野市)
事務局長	西籠 隆 (八戸市)	佐藤 功 (北上市)	高橋 孝悦 (秋田市)	斎藤 俊之 (山形市)	宗像 幸雄 (郡山市)	大竹 章夫 (阿賀野市)
幹 事	橋本 進 (三沢市)	鎌田 正彦 (花巻市)	相原 隆志 (秋田市)	酒井原敬士 (山形市)	菅原 貞夫 (伊達市)	渡辺 憲昭 (北蒲原郡)
	佐藤 仁志 (十和田市)	工藤 安彦 (盛岡市)	尾形 肇 (秋田市)	三澤 桂一 (山形市)	山田 良一 (福島市)	市川 勝彦 (阿賀野市)
	有馬 清文 (青森市)	佐藤 清光 (花巻市)	藤澤 哲 (秋田市)	佐々木 稔 (鶴岡市)	只野 昭治 (二本松市)	<顧問> 竹野 史郎 (燕市)
	横内 俊博 (青森市)	菅原 正明 (盛岡市)	小林 克至 (秋田市)	斎藤 雅博 (最上郡)	吉田千津子 (福島市)	明道 立樹 (燕市)
	長利 好晃 (つがる市)	菅原 正美 (二戸市)	藤田 正春 (秋田市)	加藤 元康 (東置賜郡)	嶺岸由紀彦 (福島市)	
		菊地 康 (奥州市)	浅利 善人 (秋田市)		立谷 惣一 (相馬市)	
		飛澤 隆 (宮古市)	足利 健 (秋田市)			
		佐々木敏江 (柴波郡)	佐々木 司 (秋田市)			
		関村 和絵 (盛岡市)	永井 文晴 (秋田市)			
		畠山 泰彦 (北上市)				
退任された役員	佐藤 敏秋 (平成30年3月)		阿部 進 (平成30年3月)	須貝 英幸 (平成30年3月)	田中 清治 (平成30年6月)	阿部 利勝 (平成30年3月)
			佐々木良博 (平成30年6月)	佐藤 和弘 (平成30年7月)		

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学の支持基盤の強化を図る一助として同窓会との連携を強める活動として同窓会総会・懇親会に後援会役員が出席し、交流を深めました。

また、新潟県支部・青森県支部においては、支部総会当日、同会場で同窓会支部総会が開催されたため、双方参加の懇親会を開き、連携強化に向けて積極的な交流を行いました。

9. 諸会議等

総 会 平成30年4月4日(木)(議案書審議)

父母懇談検討会 平成30年5月21日(月)(父母懇談会について)

父母懇談検証会 平成30年8月1日(木)(父母懇談会について)

三 役 会 議 平成30年9月28日(金)(秋の理事会・予算執行中間報告・大学見学会について)

理 事 会 平成30年10月13日(土)(中間業務報告・県支部活動状況について)

大学見学会 平成30年10月13日(土)(宮城県外ご父母 大学キャンパス見学会)

大学見学会 平成30年10月14日(日)(宮城県内ご父母 大学キャンパス見学会)

三 役 会 議 平成31年1月24日(木)(卒業・入学記念品選定、貸与奨学生について)

会 計 監 察 平成31年3月9日(土)

三 役 会 議 平成31年3月9日(土)(総会議案検討)

理 事 会 平成31年3月16日(土)(総会議案審議)

三 役 会 議 平成31年3月26日(火)(総会について)

事務局会議 随 時

2019年度 後援会事業計画

後援会規約第3条に基づく、事業計画の主な項目として、下記のとおり提案します。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

大学教職員と父母との交流の場として、学生の学園生活・修学および就職状況等について語り合う父母懇談会を開催します。父母懇談会の充実に努め、参加者の増加を図ります。

(2) 父母懇談会時の講演会の実施

各父母懇談会会場において、講演会を開催します。講師には本学教員およびカウンセラーを予定しています。

(3) 「後援会だより」「キャンパスガイド家庭版」の発行と「成績通知書」の送付

後援会活動状況ならびに大学生活等の情報発信メディアとして「後援会だより」を発行するほか、教職員・学生・父母が大学の情報を共有して、大学の動向について理解を深めていただくため、「キャンパスガイド家庭版」を作成します。また、修学状況をお知らせするため大学の協力を得て、成績通知書をご家庭に送付します。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円朝食キャンペーンへの経費援助

朝食を摂らないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や生活習慣を、朝食を摂ることを通じて改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として、大学が実施する100円朝食キャンペーンの経費を全額援助します。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（毛布、水、食料等）購入に係る経費の一部を援助します。

3. 就職支援の援助

(1) 就職活動に役立つ「就職の手引き」など冊子類の作成に係る経費を援助します。

(2) 就職支援を強化するため、本年度も引き続きSPI（総合適性検査）特別講座、自己分析講習会および就職模擬テストが実施されますが、その経費の一部を援助します。

(3) 合宿形式の就職対策研修会にその経費の一部を援助します。

(4) 各学科の進路支援活動に対して、その経費の一部を援助します。

4. 課外活動の援助

(1) クラブ活動の援助

体育・文化系団体等の学生の自主的活動を支援するため、その活動経費等の一部を援助します。また、年間活動優秀団体を表彰します。

(2) 大学祭等に対する援助

学生の全般的行事である大学祭等に対する援助を行います。

(3) 指導者の諸経費援助

学生の課外活動における合宿・対外試合等の指導に当たる指導者に対する旅費・宿泊費等を援助します。

(4) その他必要と認められる援助

その他、課外活動等への援助に関しては大学・学生委員会と連携を図りながら進めます。

5. 教育に必要と認められる援助

(1) 書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈します。

(2) 学生が参加する地域との連携研究活動等に係る経費を援助します。

(3) 卒業生・入学生に対して、記念品を贈呈します。

(4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助します。

(5) その他、必要と認められる援助をします。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

(1) 学生生活環境の整備

学生の生活環境の向上を図るために、諸施設・設備整備のための経費の一部を援助します。

(2) 自主的サークル活動への援助

課外活動連合委員会傘下クラブ以外の学生の自主的サークル活動の援助を行います。

(3) 一番町ロビーへの援助

「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助します。

(4) 特別積立金

後援会としての特別積立金総額は平成30年度末において約8,433万円となっております。

平成30年度は、バスケットゴールとライフデザイン学部10周年記念シンボル時計の寄贈のため、特別積立を行いましたが、今年度は300万円を積み立てます。

なお、特別積立金の使途については、次世代へその恩恵を継続できるよう、次の3点を踏まえ今後も検討していきます。

1) 特別積立金の使途については、大学当局と十分意見交換を行いながら、具体的な方策を提案します。

2) 学生に豊かなキャンパスライフを提供できる施策とします。

3) 今後入籍する学生も利用可能な学生支援事業とします。

(5) 貸与奨学金制度

歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方案として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、56名の卒業生に貸与してきました。その運用にあたっては特別積立金の果実（利子）により貯えることが望ましいが、現状に鑑み特別積立金の中から500万円を限度として貸与奨学生預金担保に組み入れます。

平成26年度までは奨学金対象者6名でしたが、平成27年度より8名に増やしました。

なお、返済期間満了に伴って生じる貸与奨学生預金担保戻入金は特別積立金に繰り入れます。

7. 後援会支部組織等の強化支援

支部組織の強化を図るために、適宜、支部幹事会を開催します。また、各県支部活動の情報交換や大学見学会等の活動を支援します。

また、宮城県内会員に対しては、本部役員が支援いたします。

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学支持基盤の強化を図る一助として、同窓会との連携を強めます。

(1) 後援会・同窓会の三役連絡会議を隨時開催し、交流を図ります。

(2) 各支部と同窓会支部との連携拡大に努めます。

9. 後援会事務局の強化

本後援会の事務局は運営細則により大学当局の教務学生課が担当していますが、本会事業運営の発展とともに事務量は年々増加し、日常業務に支障をきたしている状況にあります。本会発足20年（平成18年度）を契機に大学当局、同窓会および本会の三者共同負担による専従職員の配置を行なってまいりましたが、平成26年度より後援会専従職員を配置しております。